

別記様式(第5条関係)



平成30年4月26日

南国市議会議長

岡崎 純男 様

議員名

野村新作

平成29年度政務活動費収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項に基づき、別記様式・その2
のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動費収支報告書

議員名 野村新作

平成 2 9 年 度 政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	43,080	行政視察経費
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	30,432	新聞、書籍
合 計	73,512	4

3 残 額 46,488 円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

平成29年度 政務活動費 出納簿

議員名

野村新作

(四)

[illegible]

※項目…	1. 調査研究費	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費	5. 要請・陳情活動費
	6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費		

政 務 活 動 記 録 簿

議員名

野村新作

整理 番号	1	項目	①調査研究費 4. 広聴費	②研修費 5. 要請・陳情活動費	3. 広報費 6. 会議費
年月日	平成29年11月20日(月)～平成29年11月22日(水)				
相手方・ 調査先等	岡山県高梁市図書館・総合文化会館、津山市定住移住促進 シティプロモーション、鳥取県米子市、米子市リリーゼンター、ソフトバレー米子ソーラーパーク				
場 所	岡山県高梁市役所、津山市役所 米子市リリーゼンター、ソフトバレーソーラーパーク、中海テレビ放送センター 3階 ローカルエナジー株式会社				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	○高梁市図書館 新しいタイプの図書館見学 株式会社 総合文化会館 南岡市に建設予定の文化会館の 予備調査 ○津山市役所 定住移住促進事業 人口減対策を調査 シティプロモーション 津山市売込み施策調査 ○米子市・米子市リリーゼンター 視察 ・ソフトバレー巨大ソーラーパーク視察 再生可能エネルギーを学ぶ ・ローカルエナジー株式会社 自治体新電力の現状と課題 ※別途報告書へ				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	JR後免～JR岡山駅	JR		3090	
	岡山～後免			3090	
	岡山駅～いりか			5350	
	高梁市、津山市、米子市	高速道路代		1892	
	宿泊費	宿泊代 5918 (1/20) 13000 (1/22)		20118	
	日 当	2000 × 3日	食代 1200	6000	
	その他	視察参加費		3240	
		駐車場代 11/21		300	
	合 計			43080	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

高梁市複合施設(図書館)①

①社会的意義

人口の少ない地方都市での図書館を中心とした町の活性化、全国への発信(地方創生の企画)

②その他

観光案内所運営によるノウハウ蓄積、観光、図書館、書店、カフェ、複合による、お魅力的な公共施設運営へ、人口3万人規模の都市で成立するローコストモデル作り、なぜ人気のある施設か

○ 年間10回におよぶ市民アンケート、ワークショップを行い次の様にまとめられた。

○ 全体的意見の主なものへ仕事帰りに立ちまわれる、オシャレな場所として魅力がある、若い人が集る、興味がわく、誰かが行きたくなる図書館

○ 空間に対する意見へコーヒーを飲みながら本を読める親子でゆっくりと時間を過せる、おしめべりが出来る図書館、学習に集中できる学習室がほしい、ホテルのロビーのようによつたりとした空間

○ 建物に対する意見へハンデキャップのある人でも利用しやすい、明るい図書館、環境に配慮した図書館、天井が高くオープンな図書館

○ 運営に対する意見へ高梁のことならなんでも分かる、高梁を訪れた人への情報提供、新聞、雑誌が買える図書館、高齢者が利用しやすい図書館、PCやタブレットを使える環境がある365日開館、開館時間の延長

以上、市民アンケート、ワークショップを基に敷地面積490坪、図書館面積681坪4階建て、全体事業費19億847百万円の立派な高梁市複合施設として平成29年2月オープン、高梁市の魅力を創造し、発信するとともに、市民の福祉、及び生活文化

の向上に資する施設として大いに期待される。

○来館者は目標を大きく超え10月中には50万人を達成できそうだが、アンケート抜粋。市内よりも市外の来館者が多い。特に女性、若い世代に好まれている。満足度89%と高い。

○今後も図書館を利用したいが95%以上。市民の声を聞いて十分練られた計画のもと建設された高梁複合施設(図書館)の今後がますます期待される。

○利用時間 午前9時〜午後9時と、蔦屋書店・スターバックス・コートともに勤め人には好都合の時間設定。

○駐車場 始めの30分は無料、図書館利用でさらに90分¹⁰計120分無料、サービスのいいこと。

15

20

25

28

高梁総合文化会館

昭和60年4月竣工以来32年経過するも、演じる側も観客も一体となって熱くなれる。これから始まる感動の数々を予感させる場所、演劇やミュージカルはさるうんのと講演会や映画鑑賞まで、様々な場面に応える、そんなホールを目指している。開館より自主事業として地域文化の向上や、意識向上のため、国内外のさまざまな文化や芸術を企画、運営し、観客ひとり一人の感性に響くような舞台芸術を届けている。文化や芸術がなくても生活はできる。しかし意識するとは豊に生きる事に繋がる、人の数だけ感動がある。

総事業費23億6千万、定員1008名（車イス4席含む）¹⁰。南国市も文化センターの建設が予定されているが、アートワークショップを繰り返し行い、皆に喜ばれる施設であってほしい。

15

20

25

28

津山市定住移住促進

P. ①

10万人の人口が50年後は54,437人と半減

津山市の人口はH.27.10月の国勢調査では103,746人であるが50年後の人口は54,437人と半減すると想定される人口減少を食い止めるために、津山市まち、ひと、しごと創生総合戦略をH.27.10月策定し、あらゆる施策を構⁵じて人口減少、少子化を食い止め人口構造を維持し、まちの活力を創出する。◇住みやすさを追求し、住み続けた⁵い、住んでみたい、誇りに思えるまちを実現する

○仕事、移住支援室の取組……移住、定住策の充実に¹⁰よる津山

○市への還流促進(帰¹⁰ってこられる、移住できるまちへの取組)

◇「18才の崖」の克服に向けた高校、高専、大学との連携による¹⁰活性化と学生の定着促進 ◇出合¹⁰いの場の創出、結婚の希望をかなえる取組

「津山ぐらし」のよさ ①便利なまち暮らしとのどかな田舎暮らしの両立
→ ちょうどいい暮らしやすさ、人口10万人都市としての生活基盤と
歴史文化や自然環境がバランスよく調和、地震、台風などの¹⁵
災害が少い、充実した医療環境

②子育て環境が整っている。子供達がのびのびと育つ環境

○小学生になって安心すべての小学校に見童クラブ、全校区の見童クラブ
にバスの迎えあり、放課後子ども教室。スポーツ少年団、子供会活動
クラブ活動等。○整った教育環境、小中学校、中高一貫校、²⁰
高校、高専、短大、大学。

③仕事がある 製造業や医療、福祉分野を始めとした様々な雇用の
場がある。津山市内の企業数3,000

★十ニバーフー、オニリーフーの企業がたくさんある

★金属、機械、木材、繊維等の高い加工技術、²⁵

★9つの工業団地に100を超える企業

★病院や福祉施設での雇用がたくさんある

津山市への移住が増加中

②

県外からの移住者 H26年4世帯7人、H27年76世帯126人
H28年115世帯188人、20~30代81世帯、40代以上53世帯
18歳の崖を克服するために地元の企業を知ってもらう
自治体は人口減少をくい止める為に様々な努力を
行っている

5

10

15

20

25

28

米子クリーンセンター

平成14年3月完成

施設の運転をコンピューターで集中監視し安全で効率の
良い自動化運転を行う。ごみを焼却したときに発生する熱を
利用し、発電、給湯を行う。最新の技術で公害の防止を
徹底する。焼却灰を減容化、有効利用、アスファルト、
路盤材、~~土~~二次資材、チューブ管、ブロック、建築資材、
等に利用する

鳥取自然環境館にてソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク
国内でも有数規模のメガソーラーであり、敷地は1950年代に
中海干拓事業で造成されたもので所有者から20年間の期間
借地をしている敷地面積約53.2ha、出力規模約42.9MW
年間発電量約4,527KWh(一般家庭の約1200世帯の年間
電力消費量に相当する。パネル枚数178,776枚。環境に
配慮①防草土による雑草の発生を遮断②除草剤の
不使用③動物による除草等の環境配慮を行っている
子供から大人まで再生可能エネルギーを中心としたエネルギーに
ついて理解を深めるため、再生可能エネルギー利用施設や
これらを見学する工夫が整った地域を国(経済産業省)が認定
する仕組、太陽光、小水力、風力、バイオマス、地熱といった¹⁰
自然の力を利用して繰り返し利用できる再生可能エネルギーは
石油、石炭など限りある化石燃料に代る次世代エネルギー源
として利用が進められている鳥取県には48施設があるが
何と言ってもソフトバンク鳥取米子ソーラーパークは見もの土地と
スポンサーがマッ4している。¹⁵

20

25

28

ローカルエナジーK.K.

P.

米子市内 中海テレビ放送セービル3階にて講演を開く
自治体新電力の現状と課題について、ローカルエナジーK.K.
常務取締役 森真樹氏に聞く、若い！

2016年4月に電力小売全面自由化が始まる。登録されている
新電力(小売電気事業者)は401社。新電力のシェアは10%
(低圧は4.1%) 右肩より増加。スイッチング率が高いのは東京電力
管内(7.1%)。低いのは中国電力管内(0.5%) 伸びる可能性がある。
EU各国では自由化開始から、時間が経つにつれてスイッチング率
が向上している。新電力への切り替えは毎月20万件程度 既存大手電力
の自社内契約の切り替えは毎月10万件程度 既存大手電力の区域
外進出が急激に増加している ※ 四国はまだまだ
新電力の平均販売単価(低圧電力)は既存大手電力の新料金
より5%低い

東日本大震災後に電気料金は大きく上昇。自由化により下降傾向
になったが、震災前より約1割高い水準

自治体から出資を受けた新電力は30社程度、鳥取県は4社
※ 四国内はまだない

ローカルエナジー社は、エネルギー消費により、地域からお金が流出する
仕組みを地域でお金が回る仕組みに変える。鳥取県から電気料金
を払い、地域外に流出する金額は年間約1000億円

ローカルエナジー社の企業理念は「エネルギーの地産地消による
新たな地域経済基盤の創出」。自治体新電力の定義は
出資自治体と地元企業に限る。電源も供給先も地域内
電力の需給管理は自前。ローカルエナジー社の資本金(9000万円)
のうち米子市が10%、残り90%は地元企業5社が出資
地産電力の割合は63.9%、残り36.1%は日本卸電力取引所から
調達。ローカルエナジー社の電力需要家数(小売卸売)は4,304件
契約電力は20,817KW。電力の管理は常勤社員68うち女性48

一人当たり売上 114百万円 国市議会事務局
一人当たり当期純利益 4500万円